

2013. 09. 30 公契約ニュース

発行：川村雅則研究室（北海学園大学）

連絡先：011-841-1161（2744）

公契約条例の制定を求める 10万筆署名を議会に提出

◆わずか2ヶ月足らずで9万筆を超える署名が集まる

9月30日、「札幌市公契約条例の制定を求める会（代表 伊藤誠一弁護士）」（略称：求める会）は、公契約条例の制定を求める署名を札幌市議会（高橋克朋議長）に対して提出してきました。



（山と積み上げられた署名）

寄せられた署名の数は9万2764筆です。実質的に署名活動に取り組むことができたのは2ヶ月足らずという短期間にもかかわらず、これだけ数多くの署名が集まったのは、札幌市民はもちろんのこと、全道各地で、札幌市議会での条例の審議動向に関心がもたれていることを示すものだと思います。

今回署名にご協力をいただいたみなさん、ほんとうにありがとうございました。

◆一刻も早く条例の制定を！私たちの声を聞いてください！

今回、議長に私たちが要請したのは、署名の趣旨でもある次の二点です。

○貴市議会において、札幌市公契約条例を制定してください。

○貴市議会において、札幌市公契約条例の制定を求める市民の声を聞いてください。



（議長に要請）

最低賃金にはりつきたい今の賃金では暮らしていけない、このままでは子どもの世話にならざるを得ない、などなど、これまでの調査活動や集会を通じて私たちが把握してきた、公契約領域で働く人たち（庁舎の清掃労働者、指定管理者施設で働く指導員）の声をまじえながら、議会での活発な審議と一刻も早い条例の制定を要請しました。

会では、引き続き、関係当事者の「声」を集めて、議会に条例制定を求めていく予定です。会へのさらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。